平成 25 年 10 月 8 日

各　位

会社名　　株式会社コジマ
代表者名　　代表取締役会長兼社長　　木村 一義
（コード番号　7513　東証第一部）
問合せ先　　執行役員経営企画本部長　荒川 忠士
TEL　03-6907-3114
当社の親会社　株式会社ビックカメラ
代表者名　　代表取締役社長　宮嶋 宏幸
（コード番号　3048　東証第一部）

業績予想の修正、営業外収益および特別損失の計上

ならびに剰余金の配当（無配）に関するお知らせ

当社は、平成 25 年４月９日に公表した業績予想を下記の通り修正するとともに、営業外収益および特別損失の計上及び剰余金の配当(無配)を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．業績予想の修正について

(1)　平成 25 年８月期通期連結業績予想数値の修正（平成 24 年９月１日～平成 25 年８月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	285,600	△1,310	△1,840	△2,150	△27.59
今回修正予想（B）	281,900	△1,710	△395	△8,010	△102.81
増減額（B－A）	△3,700	△400	1,445	△5,860	
増減率（%）	△1.3	－	－	－	
（ご参考）前期実績（平成 24 年８月期）	126,445	△2,928	△2,935	△15,147	－

※ 平成 24 年８月期（前期）につきましては、決算期変更により５か月の変則決算となっております。そのため、(ご参考)「前期実績（平成 24 年８月期)」につきましては、平成 24 年４月１日から平成 24 年８月 31 日（５か月）の数値となっております。

※ 当第１四半期連結会計期間より、物流センター使用料に関する会計処理方法の変更を行っております。従いまして、平成 24 年８月期（前期）につきましては、関連する主要な経営指標等は、遡及処理後の数値を記載しております。

(2)　修正の理由

売上高につきましては、不採算店舗を前倒しで閉鎖したこと等によって、前回発表予想を若干下回りました。営業利益につきましては、固定費を含む経費の抜本的な削減に努めたものの、売上減少に伴う利益額の減少を補えきれず、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

一方、経常利益につきましては、第４四半期に店舗閉鎖損失引当金戻入額として 1,108 百万円

を営業外収益に計上することとなったことから、前回発表予想を上回る見込みとなりました。
当期純利益につきましては、固定資産の減損損失および長期滞留在庫の処分損失等を特別損失に計上したことにより、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

２．特別損失の計上について

当社は、収益性の低下により投資額の回収が見込めなくなった店舗について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理をおこない、減損損失として 5,470 百万円を特別損失に計上することといたしました。

また、これまで利益を圧迫していた長期滞留在庫を一括して処分することにより、1,480 百万円を特別損失に計上することといたしました。

３．剰余金の配当（無配）について

(1)　配当の内容

	決定額	直近の配当予想 （平成 25 年４月９日）	（ご参考）前期実績 （平成 24 年８月期）
基準日	平成 25 年８月 31 日	同左	平成 24 年８月 31 日
１株当たり配当金	0 円 00 銭	３円 00 銭	４円 16 銭
配当金の総額	－		324 百万円
効力発生日	－		平成 24 年 11 月 27 日
配当原資	－		その他資本剰余金

(2)　配当見送りの理由

当社の配当方針につきましては、株主の皆様に対する収益性、会社の今後の収益予想、企業基盤の強化等を十分考慮し、業績に裏付けられた成果の配分を行うことを基本方針としております。

しかしながら、平成 25 年８月期につきましては、映像商品等の販売不振に加えて、固定資産の減損損失等を特別損失に計上したことにより大幅な当期純損失となりました。このため、今期の配当につきましては、誠に遺憾ながら見送らせていただきます。

株主の皆様におかれましては、何卒事情をご理解の上、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

（注）　本資料の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、今後さまざまな要因によって上記予想数値と異なる可能性があります。

以　上